

2021年6月18日
保育事業部長 瀬尾 季子

2020年度 保育事業報告

年度初め、政府より発出された緊急事態宣言に対し、保育園では休園や登園自粛の措置が取られました。未知の感染症への対応に戸惑いながら未曾有の事態をどのように対処していか暫く試行錯誤が続きましたが、大きな混乱もなく対応できたと感じています。また、この事態がいつまで続くのか先が見えない不安の中で、感染症対策を強化し適切な衛生環境を心がけたことが、子ども達の元気な姿に繋がったのではないかと考えると安堵致します。

その反面、室内消毒や玩具などをこまめに行ったり、行事の縮小や中止について、保護者に説明したりする時間が増すなど、通常業務外の対応が多々発生したことも否めず、職員の業務負担が深刻になりました。精神的な不安を抱えながらの業務は心労が重なり心身の健康にも影響を及ぼすことから、年次有給休暇の積極的な取得でプライベートを充実できるようにしたり、チームという意識を持って職員間のコミュニケーションを心がけたりと、職員各人の負担が軽減されるような取り組みも進んで行ってきました。コロナ禍において職員が安心して働けることができる労働環境の整備は、今後も状況に合わせて見直し改善していくことが必要だと考えます。

2020年度は、「子どもを観察する一年」とし、保育観察を通して子どもの内面の育ちを捉えること、保育者は子どもの興味関心に目と心に向け保育に携わってきました。この取り組みを機に、「子ども主体」と掲げながらも大人が教え導く「大人主体」の保育であったこと、そして「子ども主体」とはどんな保育なのかを改めて考える機会になったと感じています。

取り組み始めたばかりであり、まだまだ大人主体の保育になってしまっていますが、子ども主体の保育を実現させていくためには、職員一人ひとりの主体性が欠かせないと思います。大人が「させたい保育」ではなく「子どものやりたいことを適える保育」にするためにも、職員が子どもや保護者のために、受け身ではなく自分で考え行動できる人になってほしいと考えます。

保育士不足の深刻さが加速する中、2020年度は新たに採用チームが発足し、養成校との連携のほか、SNSを活用した採用活動を行いました。また、タレントのつるの剛士さんとのご縁をいただき、「これからの保育に必要なこと」というテーマでトークイベントを開催するなど、今まではない活動を取り入れ新規職員の獲得に力を入れてきました。その結果、ひまわりの保育に興味・共感を持ってくれた方の応募が増え、保育士獲得に繋がっています。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の中、例年とは異なる採用活動に苦慮する場面もあり、新規採用だけでなく既存職員の定着にも力を入れ取り組んだものの、保育士不足の解消には至っておりません。今後も新規獲得及び既存職員の定着の両面に力を入れながら職員充足を目指していきたいと思えます。

ひまわりキッズガーデン大原

【職員の状況】

職名	2020年4月1日の職員数				年間就任・退任						2021年4月1日の職員数						
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	常勤換算		
		常勤	非常勤			就	退	就	退			就	退			常勤	非常勤
園長	1			1									1				
副園長													1				
主任	1			1									1				
保育士	6	4	4	14	2	2			1	-1	5	4	4	13	10.1		
看護師	1			1							1			1			
栄養士																	
調理員																	
用務員																	
その他	1			1							1			1			
嘱託医			1	1									1	1			
計	10	4	5	19	2	2			1	-1	10	4	5	19			

【施設運営状況】

○利用者・地域

- 新型コロナウイルス感染症の流行により、緊急事態宣言下における登園自粛期間があり、例年とは全く違う新年度のスタートを迎えました。行事等の制限が多く、特に保護者の方々にご参加頂いていた行事については中止を余儀なくされたものが多くありました。そのような行事については、行事の目的から「保護者と子どもの成長・発達について共有すること」を重視し、緊急事態宣言下には自宅でする遊びの紹介お便りの発行、運動会中止に合わせて年齢ごとの運動面の特徴や遊びの紹介お便りを発行しました。保護者からは「分かりやすい」「家庭でも取り入れてみたい」等のご感想を頂き、「今まで通り」にならない中でも試行錯誤しながら子育ての協働に努めました。
- 次の世代へ子育てを継承する、ひまわりの保育から福祉という世界を知って頂くという観点から、高校生の職業体験の受け入れや養成校の保育実習生を例年よりも多く受け入れ実施しました。コロナ禍にあり、世間の注目が高まった保育士という仕事の存在意義を職員も考える機会となりました。

○職員

- 昨年度から取り組んできた実行計画の成果として、職員が困らない・働きやすいという労働環境が整いました。また職員自身が改善に気づき提案する姿が増え、自分のクラス・担当している部分の事だけでなく、園全体に波及する視点や考えを持てるようになってきました。職員の視点の変化により、手段思考から目的思考への変化も見られ、考え行動できるチームへと変化して参りました。

【利用者支援状況】

- ・ 不特定多数の方が集う従来の子育て講座等は全くできない状況となり、地域の子育て世帯への支援やサービスの充実が停滞してしまった一年でした。入園希望者への見学については1組ずつ、土曜日等在園児の少ない時間を利用して行ないました。子育ての悩みや不安もお聞きしながら実施することで講座等ができない中ではありますが、困った時には相談できる保育園となれるよう努めました。
- ・ 利用保護者に対して、保護者会(年3回)・個別面談を実施し、園の様子や情報を発信しています。新型コロナウイルス感染症の影響で今まで以上に園での様子が見えづらいため、保護者参加行事が実施できないことも踏まえ、動画配信を利用するなど新たな試みにも取り組みました。
- ・ 気になるお子さんについては慎重にかつ、お伝えすべきことはお伝えし関係機関への橋渡しができるように努めております。年々増加傾向にあると感じている為、就学以降も見据えた対応が求められていると感じております。

【施設整備状況】

- ・ 園舎窓フィルム貼り工事 ・ ・ 園児プライバシー配慮及び防犯の為、実施
- ・ 床暖房用熱源機交換工事 ・ ・ 経年劣化のため交換
- ・ 園内片開き戸交換工事 ・ ・ ・ 園児飛び出し防止の鍵、開閉時の挟み込みを防ぐために窓の設置
- ・ 玄関電子錠交換工事 ・ ・ ・ 雷雨による故障の為、交換
- ・ 0歳児室網戸交換工事 ・ ・ ・ 経年劣化の為、交換
- ・ 事務所照明交換工事 ・ ・ ・ 経年劣化、LEDライトへ交換

【年間利用状況】(各月月初人員)

定員36名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	18	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	207	17.3
女児	18	18	18	19	19	19	19	19	19	19	19	19	225	18.8
計	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	432	36

【利用者状況推移】(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
2018年度	6	6	6	6	6	5	35
2019年度	6	6	6	6	6	6	36
2020年度	6	6	6	6	6	6	36

【主なできごと】 *誕生会、避難訓練は毎月実施

- 4月: 入園進級お祝い会
- 5月: 保護者会
- 6月: 個別面談
- 7月: プール開き・七夕集会・5歳一日特別保育
- 8月:
- 9月: 引き渡し訓練・5歳親子ピクニック

- 10月： 保護者会
 11月： 個別面談
 12月： お遊戯会・クリスマス会・餅つき
 1月： お店屋さんごっこ・5歳個別面談
 2月： 節分集会・0～4歳保護者会
 3月： 5歳お別れ遠足・ひな祭りの会・卒園式・お別れ会
 ※卒園式は感染症対策を行い、人数・時間を制限して実施。

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容 (行事アンケート・連絡帳から)	対応及び解決方法
1件	<p>5歳児 保護者 より</p> <p>面談で使用する個別資料を5歳児2名間で入れ間違い、プライバシー・個人情報流出が起きる。 保護者より入れ間違いの指摘を受け発覚。 どのような管理・取り扱いがされているかご不安・ご心配をおかけする出来事が起きた。</p>	<p>発生までの経緯・問題点について、当該2家庭に対してお詫びを差し上げるとともに今後の改善対策についてご報告をする。 全家庭に対して、事案の経緯報告とお詫びをした。ご不安等のご意見はなし。 板橋区に対して、改善対策を含めた報告書を作成し提出する。改善対策の通り、厳重に注意して取り扱うようにと口頭指導を受けた。 大きく分けて3点の問題点があり、それぞれについて園としてのルールを定め認識を揃える為に研修を実施する。</p> <p>① プライバシー・個人情報の定義について プライバシー・個人情報の取り扱いや注意点については各種マニュアルがあり、重要性や機密性については理解していたが、園内にある情報のどれがそれに該当するか曖昧であり、その結果取り扱い方法に個人差が生じていることに気付く。 →園として名前の記載のあるもの(個人が特定できるもの)は法人が定める規程に基づき全てプライバシー・個人情報に関わるものと捉え、取り扱うようにした。</p> <p>② プライバシー・個人情報の取り扱い方法について 職員に対して注意して取り扱うようにという具体性に欠ける指導しかされていない。 →現状取り扱っているプライバシー個人情報に関わるものすべてを見直し分類、法人が定める規程に基づき配付方法を明確にした。</p> <p>③ 報告連絡の仕方や認識について ①で記載の通り明確な定義がなかった為、プライバシ</p>

			<p>一・個人情報の流出であり重大事故という認識に及ばず、現場職員から園長、園長から上長への報告の全てが遅い、また第一報は口頭でという認識もない。</p> <p>→日々様々な個人情報を取り扱う為に、問題の重大性を軽視していた。定義を明確に示すことで重大性を再確認し、発覚した時点で迅速な口頭報告をする。</p>
--	--	--	---

【その他】

① 安全管理

・ 防災訓練

毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施。

9月 引き渡し訓練を実施。

・ 健康管理

園児 ; 年2回 全園児健診 ・ 歯科検診

毎月 身体測定・0歳児検診

日中の検温(午前・午後に関らず)を行い、園児の体調把握を行う。

予防接種の呼びかけ、感染症の注意喚起。

感染症が発症した場合・疑いがある場合には、事務所内で安静に過ごす。

職員 ; 年1回 定期健康診断 ・ 毎月1回 細菌検査、インフルエンザ予防接種

出勤時検温・体調報告・勤務中のマスク着用

・ 衛生管理

危険箇所、施設の衛生管理についての点検整備を行う、保育室や玩具などの消毒を行う

トイレクリーニング、室内害虫駆除(年2回)

オゾン発生器設置(新型コロナウイルス対策、空気清浄効果)

玄関に大人用手指消毒アルコールの設置

・ 安全管理

施設設備点検(月1回)

ヒヤリハット、メッセージグレードを全職員が把握。分析を行い、行動基準に反映し、再発防止に努める。

SIDSの防止

(午睡時睡眠チェック 0歳児…5分、1歳児・2歳児…10分間隔、3歳児～5歳児…15分間隔)

② 地域交流

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、中止とし、入園希望者の見学のみ実施

③ 実習生・ボランティア

地域の高等学校から職場体験の受け入れを行った。(1校 1名)

貞静学園短期大学、総合学園ヒューマンアカデミーより実習生を受け入れた。(各校 1名)

④ 第三者評価受審

回収率 34名中 29名 (85%)

総合満足度 大変満足 21名 + 満足 6名 計 27名 (93.1%)

どちらともいえない1名 (3.4%) 不満1名 3.4% 大変不満 なし

ひまわりキッズガーデン小茂根

【職員の状況】

職名	2020年4月1日の職員数				年間就任・退任						2021年4月1日の職員数						
	(内休業職員数)	正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数)	正規職員	有期契約職員		実人員合計	常勤換算
			常勤	非常勤			常勤		非常勤					常勤	非常勤		
							就	退	就	退							
園長	1			1								1			1		
副園長												1			1		
主任	1			1								1			1		
保育士	9	3	3	15	3	1				2	8	3	4	15	12.3		
看護師		1		1								1		1	1.0		
栄養士																	
調理員																	
用務員																	
その他	2		1	3					1	-1	1			1			
嘱託医			1	1									1	1			
計	13	4	5	22	3	1			1	1	12	4	5	21			

【施設運営状況】

新卒職員2名が加わりました。新年度まもなく緊急事態宣言が発出され、通常とは違った園運営となりました。登園人数の減少から、職員は玩具制作や学びの機会を多く取り入れ、今後の保育に生かせるような時間の使い方を工夫しました。特にクラスに応じた発達のまとめを作成したことは、その後のクラス運営に大いに生かされ、学んだ発達をもとに環境設定や関わりをする等、専門性の向上に繋がりました。

チーム状態では、継続して取り組んでいる「パートナー制度」が機能し、職員個々の目標や課題に応じたきめ細やかなサポートを行うことで、安心して相談し、自己発揮できる職場雰囲気を作ることが出来ました。また、パート職員に対しても、園の大切にしている考えや、運営の進捗を毎月のパート会議で共有することで、『組織の中の自分の役割』を見出すことが出来、職員一丸となって目指す保育の実現に尽力することが出来ました。『職員全員で65人の子どもを視る』というキーワードが浸透し、クラスの垣根を越えてサポートし合える職員集団となったことも、大きな成果と言えます。

また、「観察シート」や動画を活用した園内研修の継続で、子どもの心情の理解が深まり、職員全体の保育記録が変化しています。コロナ禍にあり、保護者参加の行事が中止になる中で、これまでの行事の在り方を見直し、職員達から様々な保育活動の提案がされ、そうめん流しごっこ、運動会ごっこ、作品展等が子どもたち主導で進められました。これまで当たり前だった行事や保育の考え方を見直す機会になり、これまで以上に子ども主体の保育が展開されるようになりました。

【利用者支援状況】

昨年3月から新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、登園自粛にご協力いただき家庭が多くみられ、4月、5月までは毎日20名前後の登園状況となりました。その後6月以降は通常開園となったものの、一部感染に不安を感じる方はしばらくお休みいただく様子もありました。

コロナ禍の中で、保護者参加の園行事は、中止や規模を縮小して開催しました。その中でも、ただ中止にするのではなく、限られた環境の中で「子どもたちに何を体験して欲しいか」「どんな成長に繋がって欲しいか」の視点を大切に、内容を検討、工夫しながら実施しました。保護者の方には参加いただけない分、新たに動画配信アプリを導入し、行事の様子だけでなく、日常の様子も配信しました。その成果か、行事中止への不満の声は上らず、工夫しての開催に対して保護者からの感謝の声が寄せられました。子ども主導の行事、園生活の意図が伝わったのだと感じています。

また、これまでは園内に入室いただき、日常的にお子さんの様子をご覧いただき、保育者と話し合う機会を持っていましたが、感染拡大が収まらない中、年間を通して玄関先での受け入れ・引き渡しの方法に変更しました。これまで以上に連絡帳を丁寧に記載する等の工夫はしていますが、実際に園内の様子を見られない分、保護者から不安の声が上がっている現状もあります。そこで、子どもたちの様子を写真で掲示する際、より見やすく伝わりやすいよう、掲示場所や方法を工夫はじめています。

保護者ニーズに沿った発信を心掛け、新しい生活様式の中でも子育ての協働に繋げるよう努めています。

【施設整備状況】

- ・トイレ洗浄
- ・エレベーター扉修理
- ・屋上トイレ修理
- ・エアコン洗浄
- ・床清掃(ワックス)

【年間利用状況】(各月月初人員)

定員65名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	324	27
女児	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	444	37
計	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	768	64

【利用者状況推移】(各年度3月1日現在)

年 度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
2018年度	6	7	8	15	15	13	64
2019年度	6	7	8	15	15	14	65
2020年度	6	7	7	14	15	15	64

【主なできごと】

月例 誕生祝い会(クラスごと)・避難訓練

- 4月： 入園・進級祝い会
 5月： こどもの日の集い
 6月： 個別面談
 7月： 七夕集会
 8月： 縁日ごっこ
 9月： 引き渡し訓練・お楽しみDAY(5歳児特別保育)・保護者会
 10月： 運動会ごっこ(動画配信)
 11月： 個別面談
 12月： 発表会ごっこ(動画配信)・クリスマス会・餅つき会
 1月： 個別面談(5歳)
 2月： 作品展(動画配信)・節分集会
 3月： ひな祭り集会・卒園式・お別れ会

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容（行事アンケート・連絡帳から）	対応及び解決方法
1件	<p>保護者</p> <p>コロナ禍における体調不良時の迎え依頼について、保護者よりご意見を頂く。</p> <p>園児(1歳児)の体調不良が続き、連日迎え依頼をしていた状況であった。小学生の姉も体調不良で学校を欠席、父も家庭内で過ごしているという情報もあったため当日もお迎えをお願いした。</p> <p>母が迎えのために来園した際、家族は在宅で仕事をしていることと、コロナ禍にあり、通常よりも迎え依頼の基準が変更になったことに対して、分かりづらい、仕事を調節できない等のご意見があった。</p> <p>コロナ禍での集団生活における配慮が必要なことに理解は示しているが、変化のある社会情勢の中、職務上のストレスや、まだ小さい乳児の体調を心配する保護者の気持ちに寄り添えず、一方的に迎え依頼をしていると捉えられるような伝え方をしてしまい、保護者を困惑させてしまった。</p>	<p>対応及び解決方法</p> <p>保護者の希望から、主任が対応する。大変な保護者の気持ちに寄り添えなかったこと、不快な思いをさせてしまったことを丁重にお詫びした。</p> <p>また、改めてコロナ禍における体調不良時の対応について、園だよりや掲示で周知し、保護者があらかじめ把握していただけるように対応した。</p> <p>毎日対応する職員一人ひとりが保護者に寄り添い、一方的な伝え方にならないよう、全職員に周知した。</p> <p>その後はコロナ禍における集団生活の配慮にもご理解頂けたようで、協力的な様子が見られている。</p>

【その他】

① 安全管理

- ・ 防災訓練
毎月1回避難訓練・消火訓練・通報訓練を実施した。年1回園児引渡し訓練を実施した。
- ・ 健康管理
0歳児は月1回、1歳児以上は年2回健康診断を実施した。
歯科検診を年2回実施した。
職員の健康診断を年1回、インフルエンザ予防接種を実施した。
細菌検査を毎月実施した。
健康管理には最善の注意を払い、伝染病が発症した際は掲示で保護者に知らせた。
- ・ 衛生管理
電解水を使用して来園者に手指消毒と検温を行った。また、園内の掃除や子どもが使用する玩具の消毒にも電解水を活用し、衛生管理を行った。
感染症予防のため、必要に応じてアルコールを使った園内、備品の消毒を行った。
感染症対策のためオゾン発生器を設置した。
- ・ 安全管理
ヒヤリハット、メッセージグレードを活用し、再発防止に努めた。
午睡時の睡眠チェックを実施(SIDS防止)した。
保育所内外の安全点検を月1回実施した。
建物、設備点検を業者に依頼し実施した。

② 地域交流

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、行事などは中止、入園希望者の見学のみ実施。

③ 実習生・ボランティア

保育士実習生:実員6名

※その他4名の学生の実習を受け入れ予定だったが、感染症の影響から中止となった。

東京子ども専門学校、貞静学園短期大学、川口短大から実習生を受け入れ、毎年数名が就職につながっている。

④ 第三者評価受審

利用者アンケートには約9割の家庭の協力があり、昨年度に比べて増加傾向にある。保育内容、特に「愛着」に関する記述内容が増し、園の大切にしている考え(受容的なかかわりや子どもの主体性を育む保育)への興味が伺えるようになった。

評価機関からは、「子ども自身の考えを引き出すために心情に焦点を当てた保育活動と保育環境を子ども主体で職員が考えて工夫改善している」「試行錯誤しながらより良いものを提供しようとする実践力が素晴らしい」との講評を頂いた。

ひまわりキッズガーデン東雲

【職員の状況】

職名	2020年4月1日の職員数				年間就任・退任						2021年4月1日の職員数				
	(内休業職員数)	正規職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数)	有期契約職員		実人員合計	常勤換算
		常勤	非常勤			就	退	就	退			就	退		
園長	1			1	1						1			1	
副園長															
主任	1			1							1			1	
保育士(派遣含)	10(1)	4	1	15	1	1			1	-1	9	4	2	15	14.2
看護師	2			2	1	1				0	2			2	
栄養士															
調理員															
用務員			1	1									1	1	0.9
その他			2	2									2	2	2.0
嘱託医			1	1									1	1	
計	14(1)	4	4	22	3	2			1	0	13	4	6	23	

【施設運営状況】

新年度が始まって4月13日から5月末まで、緊急事態宣言のため臨時休園・登園自粛となりました。園長の交代や職員の異動に伴う新しいチーム作りが出来ないまま、職員が交代で在宅勤務となりましたが、その間に各々が自己学習をすることで安全や保育内容の知識の獲得に繋がられたと思います。チームとしては、4つの係(安全管理メッセージグレード係・安全管理ヒヤリハット係・衛生管理係・教材係)に分かれ、業務の標準化を図り園内環境を改善に取り組みました。結果、安全や衛生・5Sの視点が以前よりも上がってきていると感じます。

コロナの影響もあり、行事や保育活動の制限が生じた一年でしたが、日々の遊びの充実に努めました。子どもが興味・関心を持ったことに夢中になって遊べるためには、どのような環境づくりや保育者の関わりが必要かを、指導計画の立案・実践・振り返りや園内研修を通して考えました。室内に遊びのコーナーを作り、子どもたちと一緒に活動を展開するなど保育内容に変化がみられてきています。

【利用者支援状況】

新型コロナウイルス感染症の影響で保護者との関係性を築ける機会が少なくなりましたが、8月には任意、11月(5歳児は1月)に全員との個別面談を行ないました。また登降園の際にはなるべく会話を交わしてお子さんの成長を共有することに努めました。行事は中止や規模縮小となることが多かったのですが、行事の意図や当日に至る過程をお伝えしてご理解いただけたと思います。地域活動は思うように出

2021年6月18日

来ませんでした。年度の後半は「お散歩体験」を行ない、戸外で園児と触れ合ったり保護者の困りごとにお答えしたりする形での支援を行ないました。

【施設整備状況】

- ・ 新型コロナウイルスをはじめとした感染症予防および脱臭のため、オゾン生成器(レンタル)を設置
- ・ 経年劣化により洗濯乾燥機と給湯器熱源機をリース契約から購入へと変更
- ・ 非常用警報装置の取替時期となったため、故障を防ぐために新しいものに交換
- ・ ゴキブリ防除作業(年2回)
- ・ 事業者によるトイレクリーニング・エアコンクリーニング
- ・ AEDが耐久年数(5年)に達したため、交換
- ・ 調理室グリストラップ・排水管清掃
- ・ 消毒保管庫の下部の部品が破損したため、扉交換
- ・ 保育室・事務所・トイレ扉に不具合が生じている箇所が多数あったため、必要箇所の修繕

【年間利用状況】(各月月初人員)

定員96名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	47	47	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	554	46.2
女児	44	44	44	44	44	44	44	44	45	45	45	45	532	44.3
計	91	91	90	90	90	90	90	90	91	91	91	91	1086	90.5

【利用者状況推移】(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
2018年度	9	12	15	19	20	18	93
2019年度	9	12	15	20	19	20	95
2020年度	9	12	15	20	18	17	91

【主なできごと】

月例 誕生日会・避難訓練

- 4月: 入園式
- 5月: こどもの日
- 6月:
- 7月: 七夕
- 8月:
- 9月: 引き渡し訓練 保護者会 個別面談 お楽しみ保育
- 10月:
- 11月: 個別面談
- 12月: 生活発表会・クリスマス・もちつき
- 1月: 個別面談(5歳児)
- 2月: 節分

3月： ひなまつり・体操発表・お別れ会・卒園式

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容 (行事アンケート・連絡帳から)		対応及び解決方法
3件	匿名の男性からの電話	「知り合いから、0・1歳児クラスの男性保育士の言葉かけがイライラとしてきつい感じがしたと聞いて、どうなのかと思った。食事の時間に「何で汚すんだ」と怒っていたと聞いている。」という内容の電話をいただく。	園長が電話対応する。お名前を伺うが、匿名でとのことだった。園として事実関係を確認し、子どもへの言葉かけや働きかけについて話し合いや指導を行なってまいりますとお伝えすると、「わかりました」と答えられ、電話を切る。翌日に職員全員に周知し、子どもたちへの丁寧な働きかけと保護者が聞いたとき誤解のない言動を心がけることを共有した。さらに職員会議で人権擁護マニュアルをもとに改めて子どもへの関わり方の認識を揃えた。その後の苦情はなし。
	3歳児保護者	引き渡し訓練で使用した避難靴の返却が確認出来ず保護者に伺ったところ、「翌日持ってきて箱の中に入れた」と返答があった。園で何度も探したが見つからず、自宅でも確認して貰ったが、結果出てこなかった。	日数をかけて探したが、どうしても見つからなかったため、保護者にお詫びして、類似したものを園で購入してお渡した。経緯や対応についてはご理解いただいた。 保護者からお預かりするものの、預かり方法の見直しを行なう。必ず手渡し・チェックリストを使用し、受け渡し状況を明確にする。
	保育園上層階に居住の方からの電話	公団3階居住者から「なんだか音がうるさい」と電話をいただく。3歳児が「ねこ道」を使用している時だったため、主任からお詫びをした。同日に、管理事務所のメールボックスに「足音や太鼓の音がして困っている」との苦情も入っていたとの報告もあった。	管理事務所を通じて、東急コミュニティーと連絡を取った。担当者と相談して、太鼓の音に関しては生活発表会の前で5歳児が楽器を使用する頻度が高い時期ということもあり、生活発表会前日に3階居住者への事情説明文のポスティングと、4街区玄関口への掲示を行なった。足音については暫らく「ねこ道」の使用を控え、対応策を検討。年度末に、ねこ道床面にマットを敷いて音を緩和するという対策を行なう。

【その他】

① 安全管理

・ 防災訓練

毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施。
津波対策としてマンション上層階への避難訓練
9月 引渡し訓練の実施

・ 健康管理

園児:毎月 乳児健診・身体測定(0歳児 2回) 年2回 全園児健診・歯科検診

職員:毎月 細菌検査の実施 年1回 定期健康診断・インフルエンザ予防接種

感染症の発症については掲示にて保護者に周知

感染症予防

- ・園児は玄関前に設置してあるアルカリ・酸性水で手指消毒、保護者と職員・来訪者は玄関内棚の上にアルコールを使用して手指消毒を行なう。
- ・園児:登園時午睡時の2回検温
- ・職員:出勤時と日中の2回検温・体調確認 マスク着用

・ 衛生管理

日常清掃の徹底

保育室及び玩具等の消毒

衛生係による衛生環境の改善提案・維持管理推進

保育室・調理室・事務所の害虫駆除

ごみ置き場の害虫(ネズミ)対策

・ 安全管理

施設設備点検 (月1回)

危険箇所の対策(コーナークラッド)

メッセージグレード・ヒヤリハットから再発防止と危険の未然防止を図る(安全管理係による取り組み推進)

SIDSの防止(睡眠チェックの徹底)

園内研修(ガイドライン・マニュアル確認と読み合わせ)

救急救命受講(全職員)

不審者訓練実施

② 地域交流

保育所体験(コロナ禍のため、戸外にて「お散歩体験」)。

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、小中高生の育児体験、育児講座、出産を迎える親の体験学習は中止

マイ保育園事業実施。登録家庭への支援

園見学の実施

③ 実習生・ボランティア

実習受け入れ3名(8月・9月・10月)(有明芸術短期大学・第一幼児教育専門学校)

④ 第三者評価受審

回答率79% 大変満足・満足91.6%

コロナの影響による行事の減少や戸外遊びへの要望や保育者対応のばらつきに対するご意見をいただいた。活動内容や丁寧な対応、給食提供については高評価がみられた。

ひまわりキッズガーデン豊洲

【職員の状況】

職名	2020年4月1日の職員数				年間就任・退任						2021年4月1日の職員数						
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	常勤換算		
		常勤	非常勤			就	退	就	退			就	退			常勤	非常勤
園長	1			1								1			1		
副園長												1			1		
主任	1			1								1			1		
保育士 (派遣含)	10	3	3	16	3	1	1			1	2	12(1)	3	2	17	15.8	
看護師	2			2		1					-1	1			1		
栄養士																	
調理員																	
用務員																	
その他	2		4	6		1			1	1	-1	1		3	4	2.4	
嘱託医			1	1										1	1		
計	16	3	7	26	3	3	1		1	1	1	17	3	6	26		

【施設運営状況】

- 新型コロナウイルスの感染状況により、4月中旬から5月末までは休園し特別保育という形で、保育が必要な子ども達のみ預かるという状況でスタートした新年度だったこともあり、新たな生活様式を取り入れての保育を日々模索しながら運営してきた1年だったと思います。
- 若手の保育士が多い分、休園期間は在宅勤務としてそれぞれが学びに時間を割く事ができ、職員全体として学んだことを発表する場を設けたことで、知識を深めることの大切さに気付くことができた取り組みであったと思います。しかし、日常の運営に戻ると学びに時間を割くことが難しくなり、日々過ごすことだけで精一杯の職員も多いのが現状です。
- 江東区全体では、待機児童が減っている状況が見られ、4月の入園では定員9名の0歳児が充足できない状況が各地域で見られていました。新型コロナウイルスの影響も受けたとは思いますが、地域のニーズとしても0歳児からの入園より1歳児からの入園を検討している家庭が増えてきていると共に、在宅で子育てする家庭も増え、保育園の入園より一時保育のニーズが高まっているように感じています。そのことを鑑み、令和3年度5月より一時保育が再開できるように体制を整えてきました。

【利用者支援状況】

- 園への不信感はコミュニケーションを図ってきたことで、少しずつ解消されてきているように感じています。また、新型コロナウイルスの感染予防対策を取りながらだったこともあり、保護者と接触する機会が

減っているのも現状です。子ども達の様子を動画で配信したり、アプリなどで写真を添付したりしながら様子を発信したり等、ICTツール(コドモン)を活用し日常の様子を発信する機会は設けてきていますが、利用者の満足度に繋がっているのかの判断は難しいところです。今後は、保育の意図が伝えられるような発信方法も考えていきたいと思っています。

- ・ 児童相談所と関わっている園児もいるため、定期的に連携を図りながら支援をしてきている。コロナ禍により夫婦で過ごす時間が増え、トラブルが日常的に起こっている状況で、園としてどこまで支援できるかを考えながらサポートしてきているが、そのことが周囲の保護者を巻き込んでいる状況もあり、各家庭への支援の難しさを感じているところです。

【施設整備状況】

- ・ 2歳児クラス床研磨作業
- ・ 給食室殺菌庫入れ替え
- ・ エアコン清掃
- ・ トイレクリーニング
- ・ 砂場清掃作業

【年間利用状況】(各月月初人員)

定員94名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	55	58	58	58	58	57	58	57	55	55	55	55	679	57
女児	35	35	35	35	35	36	36	36	38	38	38	38	435	36
計	90	93	93	93	93	93	94	93	93	93	93	93	1114	93

【利用者状況推移】(各年度3月1日現在)

年 度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
2018年度	9	13	18	18	15	16	89
2019年度	9	13	18	17	18	17	92
2020年度	9	13	18	18	17	18	93

【主なできごと】

月例 誕生日会・避難訓練

- 4月： 入園式
- 5月： 新型コロナウイルスによる臨時休園期間(特別保育を実施)
- 6月： 個別面談
- 7月： 七夕の集い
- 8月： 一日特別保育(5歳児)
- 9月：
- 10月： 運動会(リレー大会に変更)
- 11月： 乳児クラス発表会・保護者会
- 12月： 幼児クラス発表会・保護者会、もちつき

- 1月： 個別面談
 2月： 節分
 3月： ひな祭り、卒園式

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容 (行事アンケート・連絡帳から)		対応及び解決方法
3件	保護者	5歳児女児の喧嘩に関して 子どもが家で話すことと実際に起きたことでの違いがある。保育士がきちんと伝えなかったことでのトラブルになる。	両保護者と園長、担任にて面談を行う。トラブルになった際の経緯、実際に子どもたちが担任に話した話、家庭で聞いた話をすり合わせてご納得いただけた。
	保護者	夕方以降の延長時間帯に、子どもが玄関で挨拶するのに事務所にいる職員の挨拶がない。	事務所にいて子どもの姿が見えなくても、1階フロアの様子には注意を払うことを職員に周知。保護者には、職員周知したことをお伝えしご納得いただけた。
	保護者	幼児連絡帳に記載したことが確認されていない。	確認はしていたが印を押し忘れていた。幼児の連絡帳の確認手順を決定し、行動基準の中に記載。保護者にも対応をお伝えすることでご理解いただけた。

【その他】

① 安全管理

- ・ 防災訓練
 毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施
 津波対策としてマンション内上層階への避難訓練、引渡し避難訓練を年1回実施
- ・ 健康管理
 0歳児は毎月1回、1歳児以上は年に2回、職員は年1回健康診断を実施した。
 職員は、毎朝の検温など職員同士で体調を確認しあい健康管理を徹底して行う。
 インフルエンザ予防接種も実施
 職員の業務中の行動履歴も残し、新型コロナウイルスへの対策も行う。
- ・ 衛生管理
 新型コロナウイルス予防のために利用者には、アルコール消毒を活用して手指消毒を行う。玄関にはサーマルカメラを設置し、登園時には体温を確認して貰ってから入室をする。
 玩具は午前午後と活用するものを分け、電解水にて消毒を行う。
- ・ 安全管理
 施設設備点検(月1回)
 保育環境の整備

② 地域交流

- ・近隣保育園との交流活動(zoomを活用)
- ・運河ルネッサンス協議会に参加(行事の開催はなし)
- ・豊洲町会の行事や深川祭りへの参加(今年度は対面での行事なし、ぬりえ等で参加)
- ・園庭開放、見学会などの地域親子向けの行事を計画、実施
- ・保幼小中連携教育の研修や交流に参加(zoomで開催)

③ 実習生・ボランティア

有明教育芸術短期大学 3名

④ 第三者評価受審

昨年に引き続き第三者評価の受審を行う。少しずつ、園の雰囲気が変わってきていることなど、利用者からの評価にも変化がみられてきているが、まだ保育の中身に関する記載等は少なく、利用者に保育の中身が伝わるような発信をしていく必要性を感じている。

ひまわりキッズガーデン志村

【職員の状況】

職名	2020年4月1日の職員数				年間就任・退任						2021年4月1日の職員数						
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	常勤換算		
		常勤	非常勤			就	退	就	退			就	退			常勤	非常勤
園長		1		1								1		1			
副園長	1			1									1	1	0.8		
主任	1			1										1			
保育士	8(1)	3	4	15	1	1		1	2	2	-1	9(2)	1	4	14	11.8	
看護師					1	1			1		1		1	1	1	0.9	
栄養士																	
調理員																	
用務員																	
その他			3	3										3	3	0.8	
嘱託医			1	1										1	1		
計	10	4	8	22	2	2		1	3	2	0	11	2	9	22		

【施設運営状況】

- ・ 新入園児10名を迎え定員でのスタートとなりました。新型コロナウイルスの感染拡大から緊急事態宣言が発出され、自粛される家庭も多く、保育児が少ない事から時間を有効活用し、保育に関する学習の時間や手作り玩具を増やす機会を取り入れられたのは、その後の保育の大きな強みとなりました。
- ・ 複合施設の保育園としてその良さを職員が認識し理解することで高齢者施設との関わりを日常的に持つ事の意味を理解出来るようにしています。取り組みを継続する中で、同じ屋根の下にある保育園として、その空間をともにし、時間を過ごす意味を互いに理解し、関わりを大切にしたいと思っております。直接会っての交流は出来ませんでした、リモートでの交流や手紙のやりとりなどコロナ禍でも、関わりを継続できたのは良かったです。
- ・ 新入社員が1名、異動してきた職員1名が仲間に加わり、昨年までに築いた行動基準などを基に仕事を進めてきました。今年度、保育環境専門の外部講師を招き、保育の実際を見てもらいながら定期的にアドバイスを貰えたことで、職員の意識改革に繋がったと感じます。仕事のやり方ではなく、仕事の仕方の大切さを再確認しました。
- ・ 保育の中で、子どもの心情を捉える事を目的に4つの視点(子の姿・読み取り・願い・環境構成)で日誌を書く取り組みを行ないました。乳幼児会議にて、自分の日誌を振り返り4色のマーカーで色分けする中で、どれだけ子どもの心情を捉えた保育が出来たか確認する機会となり、職員の自信へと繋がっていました。

【利用者支援状況】

- ・今年度も“ひまわりの保育”の画に基づいて、各年齢の姿や発達を保護者に伝えて参りました。園での子どもの様子や家庭での子育てについても個別面談にて話す機会を設けています。子どもの育ちを大切にしながら、見通しを持って子育てができるよう、年齢による発達や育ってくる姿を話し、一人ひとりの育ちを家庭と共有できるようにしてきました。第三者評価の結果にも結び付いていると感じております。コロナ禍で、3月は保護者会など行えませんでした。おたよりを配信するなど、保育園での子どもの様子を伝え、安心して貰えるよう努めています。

【施設整備状況】

- ・1歳児クラスの網戸の付け替え
- ・トイレクリーニング
- ・エアコンクリーニング

【年間利用状況】(各月月初人員)

定員54名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288	24
女児	30	29	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	359	29.9
計	54	53	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	647	53.9

【利用者状況推移】(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
2018年度	6	8	10	10	10	10	54
2019年度	6	8	10	10	10	10	54
2020年度	6	8	10	10	10	10	54

【主なできごと】**月例 誕生日会・避難訓練**

- 4月： 入園の会(新入園児・保護者と幼児クラス)
- 5月： こどもの日
- 6月： 個別面談
- 7月： 七夕
- 8月： ひまわりだけの秘密の日(5歳児)
- 9月： 保護者会・親子ピクニック(5歳児)
- 10月：
- 11月： 作品展・個別面談
- 12月： お遊戯会(てのりの動画配信)・クリスマス会・もちつき会
- 1月： 個別面談(5歳児)
- 2月： 節分集会
- 3月： ひな祭りの会・保護者会(5歳児)・お別れ会・お別れ遠足(5歳児)・卒園式

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容 (行事アンケート・連絡帳から)		対応及び解決方法
1件	保護者	<p>0歳児クラスの園児 熱が出た為、母に迎えに来てもら う。その日、母は仕事が休みだっ たが、保育園に伝えておらず、お 迎え時に、第一連絡先の職場に 連絡してしまったことの謝罪と、休 みの場合は緊急時に連絡を取る 必要があるので教えて欲しい旨 を伝える。</p> <p>その場は納得して帰ったが、後 日保育園の対応に納得できない と連絡が来る。</p> <p>・休みの日でも子どもを預かって くれると入園の時に話していたの に話が違う(母は、休みならば子 どもを園に預けないで欲しいと言 われたと勘違いしてしまった様 子)</p>	<p>主任・0歳児担任で対応する。(父・母との面談)</p> <p>・仕事が休みの日でも、ご家庭の育児をサポート するという視点も保育園として持っているので、入 園の際、説明したようにお子さんを預けて頂いて 良い。先日、お迎えの際にお話しさせていただい たのは、仕事が休みの日は、緊急の際の連絡先 が変わるのでそれを教えて頂きたい(お休みの職 場に電話してしまうのが申し訳ない)という事をお 伝えしたかった。</p> <p>母に不快な思いをさせてしまった事を謝罪し、保 護者の方に対して不快な思いをさせるような対応 がないよう指導すると伝えると、夫婦揃ってご理解 いただけた様子でした。</p> <p>・面談の内容を昼礼・職員会議で共有し、今後の 保護者対応について話し合いを行なった。</p>

【その他】

① 安全管理

・ 防災訓練

毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施。

合同避難訓練の実施 年2回（複合施設「ここから」として建物全体での実施）

9月 引渡し訓練の実施

・ 健康管理

園児:毎月 乳児健診、年2回 全園児健診、年2回歯科検診 毎月 身体測定(0歳児 2回)

職員:年1回定期健康診断・インフルエンザ予防接種 毎月 細菌検査の実施、

健康管理には最善の注意を払い、感染症の発症については掲示にて保護者に連絡

コロナウィルスが流行し始めた際には、玄関の手指消毒を再度徹底するよう保護者に呼びかけ、

入室前の手指消毒(アルコールを使用)を徹底している。

・ 衛生管理

危険箇所、施設の衛生管理についての点検整備を実施。

保育室及び玩具等の消毒、コロナウィルスの流行り始めには施設の消毒状況を徹底する。

室内害虫駆除及びネズミ駆除(年2回)

オゾン発生器設置(新型コロナウイルス感染症対策、空気清浄効果)

・ 安全管理

施設設備点検 (月1回)

保育環境の整備 (施設内の壊れ、安全クッション、ガード)

事故防止:メッセージグレード、ヒヤリハットを活用した再発防止・ケース検討

SIDSの防止(午睡時睡眠チェック)

② 地域交流

コロナ禍の為、地域と交流を図る行事は行えませんでした。高齢者施設と連携を取りながらリモート交流の様子や手紙のやりとりなど定期的に写真を外の掲示板に貼り、発信しています。

③ 実習生・ボランティア

・ 職業体験実習(1校・2名) ・ 保育実習(4校・4名)

職場体験・・・練馬工業高校

実習校・・・星美学園、貞静学園短期大学、淑徳短期大学、総合学園ヒューマンアカデミー

④ 第三者評価受審

保護者分の回収率が92%を超え、大変満足と満足が93.9%という結果となっている。

職員の子どもへの接し方や保護者への丁寧な対応、食事の工夫と食育、異年齢との交流や様々な体験のほか、保護者の相談対応や子どもの様子や成長を感じる機会を評価する声が寄せられました。

改善面や質問点については、園だよりにて回答するなど対応しています。

ひまわりキッズガーデン有明

【職員の状況】

職名	2020年4月1日の職員数			年間就任・退任						2021年4月1日の職員数								
	(内休業職員数)	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数)	有期契約職員		実人員合計	常勤換算			
		正規職員	常勤			非常勤	就	退	就			退	就			退	常勤	非常勤
園長	1			1	1	1					2	1			1			
副園長																		
主任	1			1	1	1					2	1			1			
保育士(派遣含)	11		2	13	2	3			2		7	12(2)	2	4	18	16.2		
看護師	2			1								1			1			
栄養士																		
調理員																		
用務員																		
その他			6	6					1	2	3			6	6	3.9		
嘱託医			1	1										1	1			
計	15		9	23	4	5			3	2	14	15	2	11	28			

【施設運営状況】

- ・ 今年度は116名でのスタートでした。年間を通して入退園が多くありました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出により、4月13日から5月末まで登園自粛期間となりました。6月から保育が再開となり、新しい生活様式に沿った保育スタイルに変わる為、自粛期間中、主任・看護師を中心とし職員間で安心安全な保育環境の整備を行ないました。その都度感染状況、国や都、区の動向に合わせて環境を整えながら運営を行なって参りました。
- ・ 職員不足の状況は変わらず、前年度同様一時保育事業は休止しています。10月に正規職員が着任し担任数が確保されました。その他パート職員も採用することにより、正規職員・パート職員がチームとして連携を取りながら、安心安全な保育の提供を行なって参りました。
- ・ 園長主任が交代したことにより、保育環境や保育に対する考え方についてのこれまでと違った視点がかわり、問題点や改善点が明確になってきたため、一つひとつ意図や目的を確認しながら改善に取り組んで参りました。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、様々な行事の中止や大幅な変更が生まれました。可能な範囲でできる方法を検討し、動画配信など新たな手法を取り入れながら実施致しました。
- ・ 1月よりリーダー保育士が出産のための休暇に入りました。これを機に職員が役割を意識し主体的に行動する力が高まり、チーム力の向上を感じることができました。

【利用者支援状況】

新年度開始直後の登園自粛期間や新型コロナウイルス感染症拡大防止のため集合型の行事が開催できず、園の方針などを保護者の方の前で話す機会が持てないことで、様々な不安を抱いている状況がありました。日々、園長はじめ職員一人ひとりが保護者との対話を重ねながら不安を取り除き、安心して利用して頂けるよう努めてきました。手指消毒や検温など保護者のご理解ご協力もあり幸い園内での感染を起こすことなく運営を行なうことができ、保護者の方から労いや感謝の言葉をかけて頂きました。

【施設整備状況】

- ・ 園庭砂場管理作業で砂場の砂補充・消毒を行ない子どもたちが遊びやすい砂場づくりをしました。
- ・ トイレクリーニングを行ない、環境美化と世相の効率向上を図りました。
- ・ 園庭植栽地年間管理を例年通り行いました。
- ・ ゴキブリ防除作業を年2回行ないました。
- ・ 保育室内にありの発生が確認されたため、薬剤散布により侵入を防ぐ作業を行ないました。
- ・ 玄関ドアクローザーの交換を行ない安全なドアの開閉ができるようにしました。
- ・ 経年劣化による設備破損箇所(トイレドア・ロッカー扉など)の修繕を行ないました。
- ・ 次年度の定員変更に伴い、園内改修工事(乳児室壁撤去、ロッカー・靴箱増設)を行ないました

【年間利用状況】(各月月初人員)

定員120名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	53	54	54	53	53	53	53	54	54	53	53	53	640	53.3
女児	62	63	62	62	64	64	63	63	63	62	62	62	752	62.7
計	115	117	116	115	117	117	116	117	117	115	115	115	1392	116

【利用者状況推移】(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
2018年度	9	15	24	24	24	24	120
2019年度	9	15	24	23	23	24	118
2020年度	9	14	23	24	23	22	115

【主なできごと】

月例 誕生日会・避難訓練

- 4月： 入園式・保護者会
 5月： こどもの日
 6月： 歯科検診 ※4～6月誕生日会
 7月： 全園児健康診断七夕・水遊び開始・
 8月： 個別面談、5歳児イベント保育
 9月： 引き渡し避難訓練、個別面談
 10月：
 11月： 幼児運動発表上映会
 12月： 全園児歯科検診、クリスマス、もちつき
 1月： 個別面談
 2月： 生活発表(動画配信)
 3月： 5歳児体操参観、卒園式、お別れ遠足

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容 (行事アンケート・連絡帳から)		対応及び解決方法
3件	保護者より	次年度の定員変更についてどう いう経緯で0歳児の受け入れが なくなったのか、兄弟児がいるに もかかわらず同じ園に入れない のは納得がいかない。もっと前か ら保護者に発信するのが誠意で はないのか。	園長が面談し、江東区と法人と協議の経緯(近年 の0歳児定員充足率の推移や1歳児の待機児童 の増加などのこれまでの地域の動向など)をお伝 えする。その後部長・部長補佐が再度面談、江東 区との協議の内容や上申する旨について話す。 後日報告書をお渡しし、ご理解いただく。
	地域より	夕方、園前で子どもを遊ばせて いる保護者は子どものことを見て いない、ぶつかってきても謝罪も ない。保護者の立ち話が通路を ふさいでいて通行の邪魔、すぐ に帰らせてほしい(直接園に来て 職員に訴えられる)	その場で謝罪、遊んでいた家庭には帰宅するよう 促す。後日、園内掲示と行事(運動発表上映会)に 参加した保護者に園長から近隣からの苦情につ いて説明を行い、引き渡し後の速やかな帰宅をお 願いしご理解頂いた。
	地域より	朝と夕方、保護者が通路をふさ いで通行の邪魔になる。(この方 の)子どもと保護者がぶつかつ た。境界線などできちんと区切っ てほしい。 (マンション防災センターに要望 書として提出された)	近隣からの再度寄せられた苦情と受け止め、園と しての対応を明確にした。 受け入れ・引き渡し時の待ち方についてのルール を定め手紙として各家庭に配付。朝と夕方はカラ ーコーンにポールを張り居住者通行スペースを確 保しました。

【その他】

① 安全管理

- ・ 防災訓練
毎月1回、避難訓練・消火訓練・通報訓練を実施
9月引き渡し避難訓練の実施
- ・ 健康管理
園児: 毎月、0歳児健診、身体測定(0歳児は月2回)、年2回全園児健康診断、歯科検診、
職員: 年1回定期健康診断、インフルエンザ予防接種、毎月細菌検査の実施、毎日健康チェック
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため職員のマスク着用、職員・園児共に1日2回の検温、
園内入室時の手洗いや手指消毒の実施、玄関に手指消毒用電解水及びアルコールを設置
- ・ 衛生管理
危険箇所、施設の衛生管理について点検・整備を実施
保育室及び玩具などの消毒の徹底
感染症拡大防止のため1時間おきに室内換気、布おむつを廃止し紙おむつを使用
- ・ 安全管理
施設内施設外点検(月1回)、保育環境整備(施設内修繕)
メッセージグレード・ヒヤリハットの共有、再発防止に努める

② 地域交流

- 一時保育事業休止
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため地域事業の実施なし

③ 実習生・ボランティア

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため受け入れなし

④ 第三者評価受審

- 利用者総合評価は、満足と大変満足を合わせて94.4%という評価を受けましたが、回収率が46.2%と低く、課題の残る結果となりました。

ひまわりキッズガーデン有明の森

【職員の状況】

職名	2020年4月1日の職員数				年間就任・退任						2021年4月1日の職員数				
	(内休業職員数)	正規職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数)	有期契約職員		実人員合計	常勤換算
		常勤	非常勤			就	退	常勤				非常勤			
								就	退			就	退		
園長	1			1									1		
副園長															
主任	1			1									1		
保育士(派遣含)	11(1)	2	2	15	1	1			2	-2	9	4	1	14	13.3
看護師	2			2							2			2	
栄養士															
調理員															
用務員															
その他	1		4	5					1	1	1		5	6	3.3
嘱託医			1	1									1	1	
計	16(1)	2	7	25	1	1			1	2	-1	14	4	6	25

【施設運営状況】

- 主任の交代があり、新たな体制でのスタートとなったが、各々が役割を担い行動できるようになってきている。役割や責任者は誰なのかを明確にしていくことで、他責になることは減ってきているが、若手職員の負担も大きいので、リーダー層が適宜フォローしていくことが必要となってきている。しかし、憧れられる先輩になるためには、どうしたら良いかを常に考えながら行動していくことがリーダー層に求められることだということを実感しながらも、まだまだ行動に移していくのは難しい点もみられた1年だった。
- 園児数では引っ越しなどにより2歳クラス以上は入退園の変動が大きく、定員数を一定に満たすことが出来なかった。
- 新型コロナウイルスが流行し、4月中旬から5月末までは特別保育期間となったが、その後は行事を縮小や内容を変更して行った。

【利用者支援状況】

- 新型コロナウイルスの感染状況を見ながら短時間での個別面談を開催。面談を通してひまわりの保育について伝えながら今の様子や今後の見通しなどを伝えたことにより直接、子ども達の様子を知ることができて安心したなど声が聞かれました。職員が日々のコミュニケーションを大切にしてきたことで保護者との信頼関係が築けていると感じています。

2021年6月18日

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、毎年行っていた小学生の保育士体験は今年度、中止となりましたが、地域に向けた園庭開放は少人数で開催。オリンピック開催準備のため遊び場が減少していることもあり、同じ年齢の子どもと外でゆっくり遊べる場所があることはありがたいとお声を頂きました。

【施設整備状況】

- ・ 砂場の砂補充および抗菌作業
- ・ トイレクリーニング
- ・ エアコンクリーニング
- ・ 保育室の扉の修繕

【年間利用状況】(各月月初人員)

定員120名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	58	58	58	58	58	58	59	59	58	58	58	58	698	58.2
女児	55	58	58	59	59	59	58	59	59	59	59	59	701	58.4
計	113	116	116	117	117	117	117	118	117	117	117	117	1399	116.6

【利用者状況推移】(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
2018年度	9	15	24	24	24	23	119
2019年度	9	15	24	24	23	24	119
2020年度	9	15	23	24	24	22	117

【主なできごと】

月例 誕生日会・避難訓練

- 4月： 入園式
- 5月： 緊急事態宣言中のため特別保育の実施
- 6月：
- 7月： 七夕の集い、水遊び
- 8月： 一日特別保育(5歳児)、幼児個別面談
- 9月： 乳児個別面談
- 10月： 運動会(運動表現鑑賞会に変更)
- 11月： 乳児発表会(DVDにて保護者へ貸し出し)
- 12月： 幼児発表会、もちつき
- 1月： 5歳児個別面談
- 2月： 節分、個別面談
- 3月： おわかれ会、お別れ遠足(5歳児)、卒園式

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容 (行事アンケート・連絡帳から)		対応及び解決方法
2件	10月	保護者の仕事の都合で登園が13時～14時になるとの連絡があり。 午睡の時間になるため、もう少し早く登園が可能かを伺ったところ、「お金を払っているのに拒否をするのか。私の都合があるのでその時間に行く」とお怒りになりながら電話を切られる。	登園時に母親へ声をかけると「さっきは強い口調となり申し訳なかった」との話があり。「家庭の事情も理解しているため保育園として受け入れを拒否したわけではなく、子どもが不安なく集団の中に入れるようなタイミングで登園できればと思い声をかけた」旨をつたえたとご理解頂けた。
	1月	新型コロナウイルス感染拡大防止として園児の受け入れ場所が変更となったが朝は時間帯により密になっているためこの取り組みに意味を感じないとご意見あり。	各クラス、分散できるよう荷物置き場の工夫と受け入れ場所を変更しご理解を頂きました。

【その他】

① 安全管理

・ 防災訓練

毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施、年1回引渡し避難訓練、不審者対応訓練を実施した。

・ 健康管理

0歳児は毎月、1歳児以上は年2回、職員は年1回健康診断を実施した。

園児は朝と午後の2回の検温など体調を把握。健康管理を徹底して行う

職員は、1日2回の検温など職員同士で体調を確認しあい健康管理を徹底して行う。

・ 衛生管理

電解水やアルコールを使つての手指消毒を職員、保護者、園児に対して実施。また、園内の清掃にも電解水、アルコールを利用し感染症予防に努めるとともに、オゾン発生装置、加湿付き空気清浄機の設置、保護者への予防対策のお願いを行う。

・ 安全管理

保育所内外の安全点検を月1回実施。

設備点検など地域の諸機関の協力のもと安全指導を実施した。

② 地域交流

園庭を使った保育所体験に参加して頂き、交流を深めた。

③ 実習生・ボランティア

希望者なし

④ 2020年度第三者評価受審

第三者評価に関しては回答率が68.4%と昨年度より10%回答率が上がり、うち96.3%の方から満足と評価を頂きました。保護者からは職員のいつも明るく優しい接し方や親身になった相談や丁寧な対応、様々な体験や活動による子どもの成長や生活習慣作りのほか、信頼できる職員の存在など園に信頼を寄せる声を頂きました。

ひまわりキッズガーデン城山

【職員の状況】

職名	2020年4月1日の職員数				年間就任・退任						2021年4月1日の職員数						
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員		有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	常勤換算	
		常勤	非常勤		就	退	常勤		非常勤								
							就	退	就	退							
園長	1			1									1			1	
副園長	1			1													
主任	1			1												1	
保育士	9	2	1	12	2	3			1	2	-2	8	1	1	10	9.9	
看護師			1	1									1		1	0.9	
栄養士																	
調理員																	
用務員																	
その他			3	3				1	1	0				5	5	2.8	
嘱託医			1	1										1	1		
計	12	2	6	20	2	3			2	3	-2	10	2	7	19		

【施設運営状況】

○利用者・地域

- 新型コロナウイルス感染症の流行による緊急事態宣言が発出され、登園自粛要請されるなど例年とは異なる新年度のスタートでした。保育の取り組みや行事の方法など色々な見直しを行う事態となり、例年通りの保育サービスとは異なりました。自宅で待機しているご家庭に架電し、家での子どもの様子を確認したり、保護者の育児の悩みを聞いたりするなど保育サービスが低減しないよう関わりました。登園自粛期間が明けた後には、例年行ってきた保育を見直し、感染防止対策を踏まえた環境にて保育を行ってまいりました。
- 行事については保護者のご理解を得て、運動会や親子自然体験など各行事については中止や規模縮小しての開催となりました。卒園式については密にならない環境を整え、また時間短縮開催し実施しました。卒園児が巣立っていく姿を皆でお祝いすることができてよかったです。

○職員

- 2020年度は「子どもが自ら育とうとする力を発揮できるように、職員一人ひとりが専門知識を向上し、保護者とともに子どもの育ちについて語り合える関係を築く」ことをあるべき姿に掲げ、職員各人の感覚で保育をするのではなく、子どもの育ち・環境設定・保育者の配慮を職員全員が同じ視点で振り返りができるよう評価視点を定めるため、園内研修や観察シートを利用しながら行動の裏側にある心情を捉えた記録をするよう関わってきました。その結果、日誌やお便りの内容にも変化が現れ、職員の中にも大人の関わりや配慮を意識するようになり、園で取り組んでいる環境構成や関わり方

2021年6月18日

を保護者に伝えたいと思うようになってきています。

- ・ 昨年度明確にした、“誰が・いつまでに・なにを・どのように”取り組むかという業務進捗を今年度も確認し、状況に応じてアップデートを行いました。職員からも日々の業務の中で改善したいチェック点が高まるようになり現状に応じた進捗確認を行ってきました。

【利用者支援状況】

- ・ 不特定多数の方が集う従来の子育て講座等は全くできない状況となり、地域の子育て世帯への支援やサービスの充実は停滞していた一年でした。入園希望者への見学については緊急事態宣言期間以外の期間には行いましたが、見学方法は一回につき一組ずつ、また、子どもや職員と直接触れ合わないよう対策をしたうえで行いました。
- ・ 利用している保護者に対して、個別面談や保護者会を行い園の様子や情報を発信しています。保護者会については三密を防ぐ目的からZoomを利用して開催するなど新しい方法を取り入れて行い、保護者との連携を深めて参りました。

【施設整備状況】

- ・ トイレクリーニング ・ 室内消毒(年2回)
- ・ 厨房設備修繕 ・ 園庭樹木剪定 ・ 排水管高圧洗浄

【年間利用状況】(各月月初人員)

定員60名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	25	26	26	26	26	26	26	27	27	27	27	27	316	26.3
女児	34	34	34	34	34	33	32	32	32	32	32	32	395	32.9
計	59	60	60	60	60	59	58	59	59	59	59	59	711	59.3

【利用者状況推移】(各年度3月1日現在)

年 度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
2018年度		12	12	12	12	12	60
2019年度		12	12	10	12	12	58
2020年度		12	12	11	12	12	59

【主なできごと】

月例： 誕生日会・避難訓練・保育参加

4月：

5月：

6月： 個別面談・歯科検診

7月： 七夕・全園児健診

8月： 水遊び

9月： 保護者会

10月： 個別面談(3～4歳児)

- 11月： 個別面談(1～2歳児)・親子フェスティバル(5歳児)
 12月： クリスマス会・個別面談(5歳児)・全園児健診
 1月： お遊戯会(4～5歳児)
 2月： 節分・歯科検診・保護者会・お店屋さんごっこ・新入園児入園説明会
 3月： お別れ遠足・お別れ会・卒園式・新入園児健診

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容（個人情報流出(誤郵送)	対応及び解決方法
1件	5歳児 保護者 「板橋区立志村第四小学校」に送る板橋区保育所児童保育要録一式を、誤って「板橋区立板橋第四小学校」に郵送し、お子さまの個人情報が流出してしまった件について説明。保護者よりいつ時点で誤郵送が発覚したのか、ダブルチェックの体制はあったのか、志村第四小学校には送ったのか、私も以前(保育士として)働いているときに要録は直接小学校に持っていくものという認識があるがなぜ今回郵送したのかのご意見を頂いた。	保護者からの問い合わせへ返答と謝罪を行った。発覚日時(保護者に説明した日の12時頃)に板橋第四小の副校長より電話あったことで発覚をしたこと、ダブルチェック体制は不十分であり、副園長の確認が不足したこと、志村第四小には郵送済であり、今日発送することは志村第四小の副校長にも了解を得ていること、コロナ禍であり、今年度の要録は郵送手続きをしていることを説明し、保護者の了解は得た。 再発防止策として、 ①文書発送処理簿を新設する。郵送するときには担当者と確認者(園長、副園長、主任、副主任のうち一名)の合計2名の確認を得たうえで郵送することをルール化する。処理簿内に「日付、あて先、郵送書類名称、住所確認根拠記入欄、担当者、確認者」欄を作り、「いつ、どこに、なにを、だれが、確認をした人はだれか、どのような根拠をもとに住所を確認したか」を記載することにより、確認することの重要性を高く持つように環境設定する。 ②小学校名を話すときには正式名称は何かを確認し、職員同士が違う小学校を認識していないかを普段から確認する。 ③ 児が就学する小学校が本当に合っているかを保護者とともに確認する必要があるため、保育要録を作成する前に保護者に、児童名、児童生年月日、自宅住所、保護者名、就学先(正式学校名、住所)を記入してもらい、提出があったものを元に要録を作成する ④要録作成手順を策定する 事で再発を防いでいく。

【その他】

① 安全管理

- ・ 防災訓練
毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施
9月 引渡し訓練を実施
- ・ 健康管理
園児 ; 年2回 全園児健診 ・ 年2回 歯科検診
毎月 身体測定
日々の検温(毎日2回:午睡前、16時)を行い、園児の体調把握を行う。
予防接種の呼びかけを行い、事前に感染症拡大を防止する。
感染症が発症した場合・疑いがある場合には、事務所内で安静に過ごす。
職員 ; 年1回 定期健康診断 ・ 毎月1回 細菌検査
年1回 インフルエンザ予防接種
出勤時、昼食後の検温、体調報告、勤務中のマスク着用
- ・ 衛生管理
危険箇所、施設の衛生管理についての点検整備を行う
保育室や玩具などの消毒を行う
トイレクリーニング
エアコンクリーニング
室内害虫駆除(年2回)
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策(保育所における感染症ガイドラインに基づき対応する)
オゾン発生器設置(新型コロナウイルス感染症対策、空気清浄効果)
玄関に大人用手指消毒アルコールの設置
- ・ 安全管理
施設設備点検(月1回)
保育環境の整備(安全ガード、クッションなどを設置)
ヒヤリハット、メッセージグレードを全職員が把握。分析を行い再発防止に努める。
SIDSの防止(午睡時睡眠チェック 1歳児…10分間隔、2歳児～5歳児…15分間隔)

② 地域交流

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為中止とし、入園希望者の見学のみ実施

③ 実習生・ボランティア

地域の高等学校から職場体験の受け入れを行った。(1校/3名)

貞静学園短期大学、淑徳大学短期大学部、第一幼児教育専門学校より実習生を受け入れた。(各校1名)

④ 東京都福祉サービス第三者評価受審(11月実施)

利用者本位のサービスを提供すること、またサービスの資質向上のため利用者アンケートを実施、また職員アンケートも行い事業所の状態をアセスメントする機会となった。

利用者アンケートでは、94.7%の家庭が当園の保育サービスに満足していると回答して下さり、今後も更なる保育の資質向上に努めていきたいと思っております。